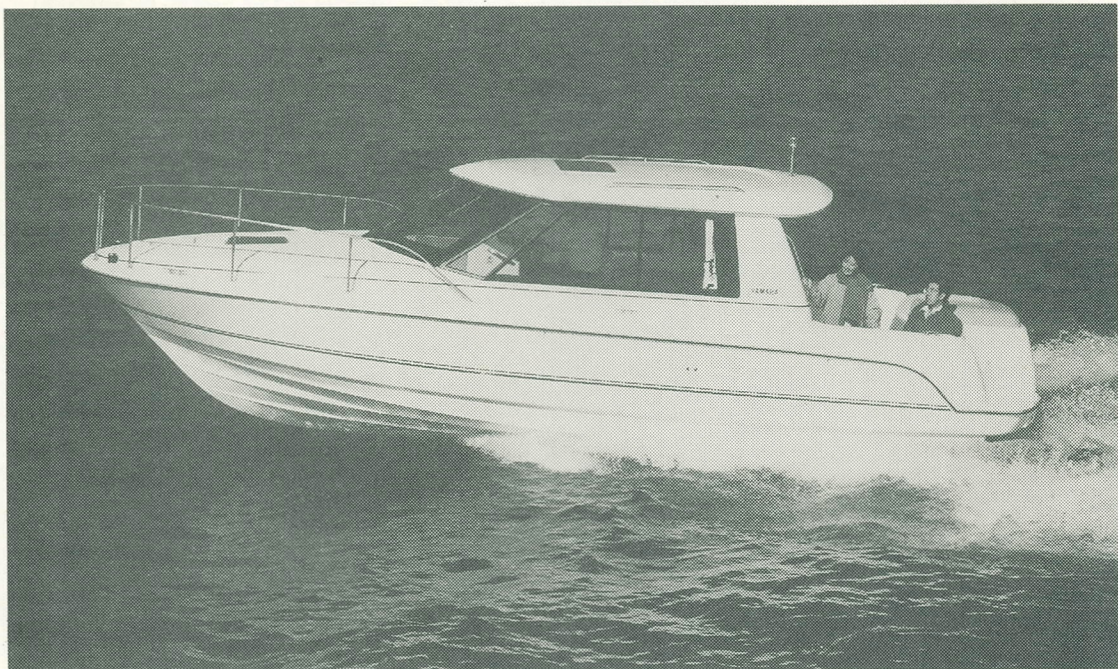


1992年1月23日

— 居住空間をたっぷりとした“滞在型ファミリーボート” —

### ヤマハ『CR-27セダン』 新 発 売

ヤマハ発動機株式会社では、居住空間を重視した“滞在型”のモータークルーザー『CR-27セダン』を新たに開発しました。3月1日より発売するとともに、東京及び大阪の国際ボートショーに出品展示致します。



ヤマハ『CR-27セダン』

< 東京店頭渡し希望小売価格 >

8,874,000 円

- ・ ヤマハ 200 馬力船外機 1 基付き
- ・ 限定沿海法定安全備品含む
- ・ 消費税別

< 販 売 計 画 隻 数 >

140 隻 / 初年度

#### ヤマハ発動機株式会社

本社広報室 ● 〒438 静岡県磐田市新貝2500

TEL. 0538(32)1145 FAX. 0538(37)4250

東京広報課 ● 〒104 東京都中央区銀座8-8-5陽栄銀座ビル

TEL. 03(3571)8191 FAX. 03(3574)8019



## < 市場背景と商品の概要 >

ボートを使用しての遊びというとはまず釣りになりますが、海という異次元の世界を、時間をかけて心ゆくまで味合えるのも、ボートの魅力の一つです。

ゆったりクルージングを楽しみ、マリーナなどに水上係留しても快適に過ごせる——欧米などのマリンレジャー先進地域では、“動く海の別荘”として使えるボートに幅広い人気があり、一般的なタイプとなっています。

ニューモデル『CR-27セダン』は、日本でもこれから増えてくる水上係留（保管）型マリーナで使用することを想定したボートです。室内空間・居住空間をたっぷりとり、週末にはマリーナに停泊したまま、オーバーナイトで家族そろって楽しい寛ぎの時間を過ごせるように設計されています。

## < 『CR-27セダン』の特徴 >

### “滞在”を考慮した広い室内空間

一家族が週末を楽しく過ごし、そのまま一泊する余裕のあるキャビン——これがニューモデル『CR-27セダン』の最大の特徴になります。従来、27フィート（8.1m）サイズのモーターボートでは難しかった大人4名分のバース（寝台）設置を、艇の幅を大きめにとり、アフトデッキを比較的小さめにしてキャビン長さを確保し、加えて、サロンシート下にアンダーバースをレイアウトするなどの工夫により、余裕をもって実現しました。

大人4名+子供1名（あるいは大人2名+子供3名）の宿泊が可能です。

### “滞在”を考慮したインテリアと設備

サロン右舷の操縦席下に冷蔵庫（オプション）、操縦席後方にギャレー（台所）を装備し、滞在時の快適性を高めました。また、初めての試みとして陸電（船外の通常の電源を使用する設備）専用のエアコンがオプションで用意されており、夏・冬期を通じて居住性を高めています。

インテリアにはホワイトオーク材を使用し、リゾートホテルを思わせる明るく軽快なキャビンに仕上げています。ソファはブルー系（タイプA）、



グリーン系（タイプB）の2種類から選択が可能です。

両舷のウインドウと後方のスライドドアは非常に広く、キャビンへの採光は十分です。また、夜間も楽しく過ごすことを考慮し、照明は従来よりも光量を多く装備しています。

#### キャビンと一体感のある後部デッキ

キャビンの出入口に新しい機構を採用し、ドアを広く開けられるようにしたため、たとえば停泊中に多人数でパーティーを開いたときなど、サロンとアフトデッキを一体的に広く使うことができます。

アフトデッキには4名分のシートが装備され、オプションでシャワーが取り付けられます。

#### 静粛性、利便性を高めた船外機カバー

主機のヤマハ200馬力船外機を設置する艇尾に、船外機を覆うカバーを設けました。その結果、当社比で騒音を約3デシベル低減させ（85デシベル→82デシベル）、静粛性を高めています。

さらに、カバーそのものをテーブルとして使える形状にし、後部デッキの実質的な広さを広げています。

#### 高性能の新設計した艇体

『CR-27セダン』のハル（艇体）はまったく新たに設計されています。“滞在型”という商品コンセプトですから、静止時（停泊時）の安定性が高いのは当然ですが、このサイズのモーターボートの使用実態として外洋での走行が予想されるため、スピード性能と凌波性も考慮した新しい船型を採用しています。

ヤマハ200馬力船外機とのマッチングは素晴らしく、軽荷・平水での当社実測値で33ノット強（時速約60km）という高性能を発揮しています。



開発担当者のコメント

これから各地に高機能のマリーナが、次々に出来る状況ですが、そういう環境でより快適に使用できるボートという考え方で、『CR-27セダン』をまとめました。

『CR-27セダン』は、このサイズのボートとしてはこれまでになく容量の大きいデザインです。そのため、静止安定性、凌波性、走行性能などを室内空間確保の要求と高い次元で融合させ、腰の強い安定性の高いボートに仕上げました。

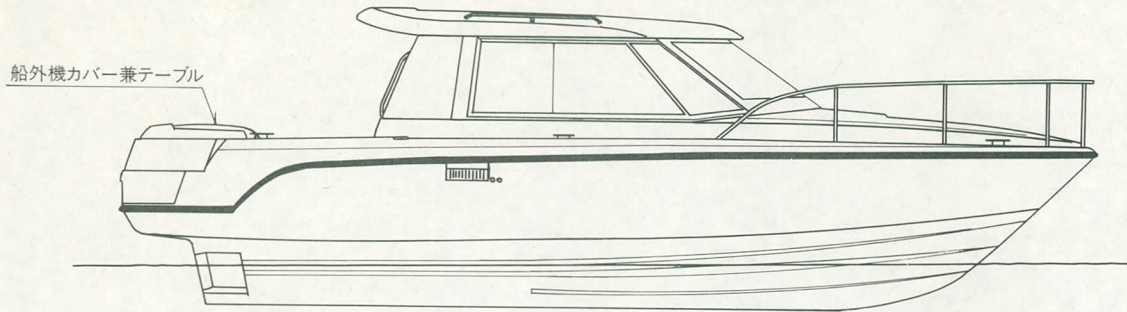
新しいマリーナ環境の時代を迎えて、それにふさわしいコンセプトを持ったファミリー・レジャー向きモデルに仕上がったと思います。

舟艇事業部 舟艇設計課  
内 野 一 弘

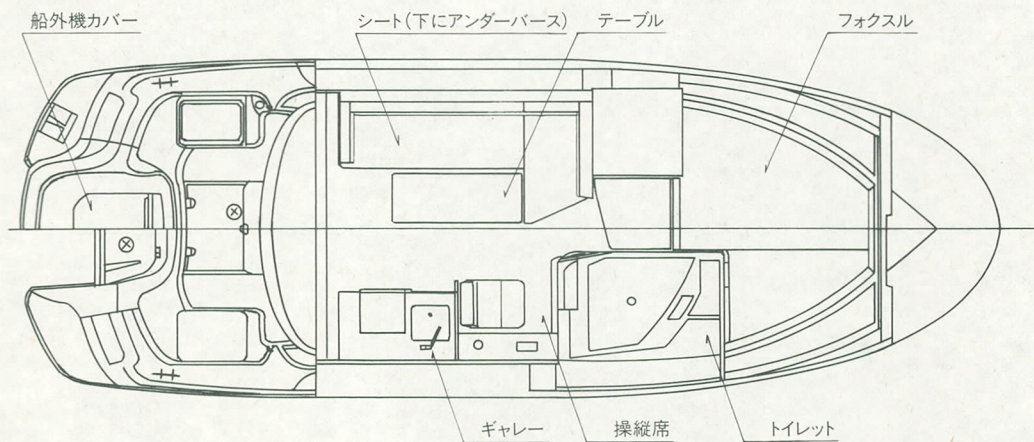


# < 『CR - 27 セダン』 プラン >

## ■側面図



## ■後部デッキ及び船内配置図





< 『CR - 27 セダン』 主要諸元 >

- 全長 : 8.65m
- 全幅 : 3.03m
- 完成重量 : 2,330kg
- 燃料タンク容量 : 200 ℓ
- 清水タンク容量 : 50 ℓ
- エンジン : ヤマハ船外機 200 馬力 × 1 基
- 定員 : 12 名
- 総トン数 : 5 トン未滿 (小型船操縦士四級免状で操縦可能)
- 航行区域 : 限定沿海

□ カラーリング (艇体 / デッキ) :

タイプ A (内装ブルー仕様) : ホワイトに赤及び青のライン付き /  
ホワイトに青ライン付き

タイプ B (内装グリーン仕様) : ホワイト (一部グリーン) / ホワイトに  
オレンジ及び緑のライン付き

\*ご参考 : 第 35 回東京国際ボートショーは 2 月 7 日 (水) ~ 12 日 (月) の間、晴海・  
国際見本市会場にて、また、第 11 回大阪国際ボートショーは 3 月 7 日 (木)  
~ 10 日 (日)、南港・インテックス大阪にて開催されます。

— この件に関するお問い合わせ先 —

ヤマハ発動機株式会社 広報室広報課 (名畑)

静岡県磐田市新貝 2500

電話 (0538) 32 - 1145 (直通)

ヤマハ発動機株式会社 東京広報

東京都中央区銀座 8 - 8 - 5

陽栄銀座ビル 4F

電話 (03) 3571 - 8191 (代表)